



平成 19 年 2 月 13 日

各 位

会社名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 真之
コード番号 3947
(東証・名証第 2 部)
問合せ先 執行役員経理部長 山田 良文
電話番号 (052) 971 - 2651

特別損失の発生および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 12 月期個別におきまして、下記のとおり特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 8 月 25 日の中間決算発表時に公表した平成 18 年 12 月期（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

当社は、原材料価格の高騰による利益率の低下ならびに減損損失を見込んだ収益見通しを発表しております。今後は適正価格の確保ならびに生産合理化効果により収益の改善が見通されるものの、子会社の財務状況を勘案し、平成 18 年度個別決算において子会社株式評価損を計上することとなったものであります。

2. 平成 18 年 12 月期連結業績予想数値の修正（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 連結予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	50,500	1,250	2,400
今回修正予想 (B)	50,760	1,100	2,530
増減額 (B - A)	260	150	130
増減率 (%)	0.5	12.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 12 月期)	50,066	975	1,031

(2) 個別予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	34,000	1,000	600
今回修正予想 (B)	34,200	1,170	2,670
増減額 (B - A)	200	170	3,270
増減率 (%)	0.6	17.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 12 月期)	34,231	871	476

3. 修正の理由

(1) 通期の連結業績

売上高は予定どおり推移しましたが、経常利益、当期純利益につきましては原材料価格の高騰と製品価格への転嫁の遅れから予想を若干下回る見通しとなりました。

(2) 通期の個別業績

売上高、経常利益はともに予定を若干上回る見通しとなりました。しかしながら、当社の子会社である大日本紙業株式会社および日本ハイパック株式会社が、原材料価格の高騰により収益が悪化したことに加え、当期に多額の減損損失を計上したことにより、財務内容が大幅に悪化いたしました。このため、期末で子会社株式評価損（32 億円）を計上することとなったため、当期純利益は 26 億 7,000 万円の損失となる見通しとなりました。

以 上